



引地 達雄 議員

新庁舎建設について

新庁舎の建設については、7月に「大田原市庁舎復興再整備計画」を策定し、事業手法は「直営方式」「デザインビルド方式」「PFI方式」「リース方式」の4つの手法を検討しました。その結果、庁舎の復興再整備は、市の公共施設整備等基金や

合併特例債、国の災害復興の支援策などを活用することで自己資金の調達が可能と判断し、「直営方式」又は「デザインビルド方式」、さらに近年庁舎整備等に新たに採用されている「ECI方式」を加え、先進事例も含めて本市に最も適した方法を採用する事とします。事業の進捗状況については、基本設計業者を9月末までに選定し、基本設計の策定を本年

- ※1 設計や建設等の各業務を個別に発注すること
- ※2 実施設計と施工を一体的に発注すること
- ※3 設計段階から施工者が関与すること



高崎 和夫 議員

「住む人が輝き来る人がやすらぐ幸せ度の高いまち」に向けた市政について

2期目の抱負として昨年、「元気度日本一おおたわら」を目指すことを宣言し、これを実現するための施策として、子育て支援などの目標を掲げ、今後引き続き全力で取り組んでいきます。また、本市における安定した雇用を創出し、新しい人

の流れをつくり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、時代にあつた地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する施策を展開していきます。具体的には、企業誘致を促進することや市街地における良好な住環境を整備すること、さらにより一層の少子高齢化対策に取り組み、結婚支援事業に力を入るとともに「地域おこし

協力隊」を導入し、今後、本市への定住人口の増加につながる施策を展開していきたいと考えています。2期目の残された期間も、公正・公平・公明の基本姿勢を貫き、誠心・誠意市政に取り組んでいきます。